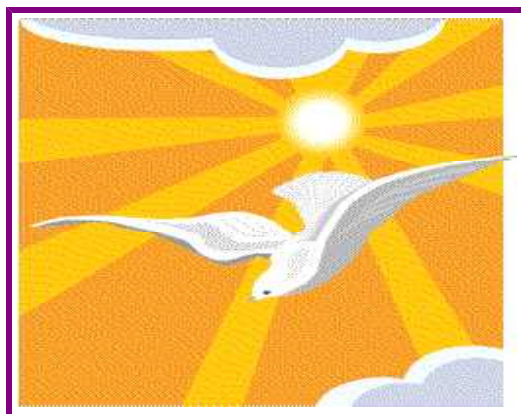


めぐみイエス・キリスト教会

2020年6月14日(日)第二主日礼拝
週報「通算第510号」



2020年標題聖句

第I テサロニケ5章16節～18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年6月14日 第二主日礼拝 午前10時

司会 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌361「栄えの王にます主の」 p. 578

【交読文】 No.56 ローマ人への手紙第12章 p. 924

【賛美Ⅱ】 新聖歌420「雨を降り注ぎ」 p. 676

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル賛美No.5 「聖霊の風」

【聖書朗読】 使徒の働き2章13節～21節(2017新約p. 234上段)

【礼拝説教】 《新しいぶどう酒》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌198「God Bless You」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所「使徒の働き」2章13節～21節

2:13 だが、「彼らは新しいぶどう酒に酔っているのだ」と言って、嘲る者たちもいた。

2:14 ペテロは十一人とともに立って、声を張り上げ、人々に語りかけた。「ユダヤの皆さん、ならびにエルサレムに住むすべての皆さん、あなたがたにこのことを知っていただきたい。私の言葉に耳を傾けていただきたい。

2:15 今は朝の九時ですから、この人たちは、あなたがたが思っているように酔っているわけではありません。

2:16 これは、預言者ヨエルによって語られたことです。

2:17 『神は言われる。終わりの日に、私はすべての人に私の霊を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。

2:18 その日私は、私のしもべにも、はしためにも、私の霊を注ぐ。すると彼らは預言する。

2:19 また、私は上は天に不思議を、下は地にしるしを現れさせる。それは血と火と立ち上る煙。

2:20 主の大いなる輝かしい日が来る前に、太陽は闇に、月は血に変わる。

2:21 しかし、主の御名を呼び求める者はみな救われる。』

●ポイント1. 主イエスの御前に人が取る二つの態度とは？

※使徒の働き10章34節～43節「すべての人の主」(新約p.255上段右側)

●ポイント2. ペテロの引用した旧約聖書箇所とは？

※ヨエル書2章28節～32節「紀元前800年の預言」(旧約p.1556上段)

2:28 その後、私はすべての人に私の霊を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、老人は夢を見、青年は幻を見る。

2:29 その日私は、男奴隷にも女奴隷にも、私の霊を注ぐ。

2:30 私は天と地に、しるしを現れさせる。それは血と火と煙の柱。

2:31 主の大いなる恐るべき日が来る前に、太陽は闇に、月は血に変わる。

2:32 しかし、主の御名を呼び求める者はみな救われる。主が言ったように、シオンの山、エルサレムには逃れの者がいるからだ。生き残った者たちのうちに、主が呼び出す者がいる。

●ポイント3. パウロの勧めから

※エペソ人への手紙5章18節「御霊に満たされなさい」(新約p.390下段)

5:18 また、ぶどう酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。むしろ、御霊に満たされなさい。

◎先週のメッセージの概要【集まって来た人々】

《聖霊が降られた時に、「天から突然、激しい風が吹いて来たような響きが起こり、彼らがいた家全体に響き渡った。」とルカは書き記していますが、この事を実際に経験したのは十二使徒と、ヨハネ・マルコです。

どのような響きであったのかは、想像するしかありませんが、この物音を聞いて、大勢の人々が集まって来たと言うのです。しかも後にペテロの説教で、3,000人のユダヤ人が救われ、教会に加えられることとなります。とするならば、集まって来た人々は、女性や子どもたちを数の中に入れて、ゆうに10,000人を越えた大群衆になるわけです。

さて、ルカは、『パルティア人、メディア人、エラム人、またメソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントスとアジア、フリュギアとパンフィリア、エジプト、クレネに近いリビア地方に住む者、また滞在中のローマ人で、ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレタ人とアラビア人もいる。』と並べていますが、要は、ローマ帝国内のユダヤ人と改宗者たちを指しています。

ローマ帝国は、征服して支配下に入れた国々を多くの州に分け、各州に首都を定め、そこにローマ総督を配置するという政策を取りました。また軍用道路が整備され、迅速に各州間を移動することが出来たのです。

イエス様が復活された後、十一使徒たちに与えられた命令は、「あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。」と、「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えよ。」と言うことでした。「あらゆる国」と「全世界」とは、当時のローマ帝国内を指し示します。

十二使徒は、ユダヤ人に遣わされた使徒なのです。しかしその為には、ローマ帝国内の「経験なユダヤ人たち」がまず初穂として救われる必要がありました。集まった人々は、実は偶然集まったのではなく集められたのです。神様は、その様にご計画され、時を定めていました。その日、聖霊に満ちたペテロの言葉は、ユダヤ人の心を突き通したのです。》

◎お知らせ

※次回「第三主日礼拝」は、6月21日(日)教会にて行ないます。しばらくの間、夜の第二礼拝はお休みいたします。また「聖書の学びと祈り会」も、しばらくの間、各家庭にて分かれて行なうことに変更いたします。